

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	福井県民生活協同組合	代表者	松宮幹雄	法人・事業所の特徴 坂井市の北部ののどかな田園地域に立地しており、同敷地内に通所介護・認知症対応型通所介護・認知症対応型共同生活介護を併設しています。 県民せいきょうの理念「あなたらしさいつまでも」を念頭に置き、事業所独自として「えがお」という理念を掲げています。利用者だけでなく、家族、もちろん職員も笑顔でいられたらいいねという思いです。坂井きらめきでは、通いサービスが中心ですが、訪問を頻回に行う事で一人暮らしの方のサポートをしたり、宿泊を組み入れることで家族の介護負担を軽減できる様に心がけています。地域とのつながりを大切にし、気軽に困りごとを相談しに来て頂けるような事業所を目指します。
事業所名	県民せいきょう 小規模多機能型ホーム 坂井きらめきハウス	管理者	長谷川典子	

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	3人	人	1人	1人	人	2人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	野菜作りを継続し、職員、ご利用者共に全員参加型の取り組みとなるよう役割分担を工夫しながら進めていきます。 「～したい」については、選択肢からの聞き取りも含め実現に繋げていきます。	野菜や花の苗の購入、種まき、苗植え、水やり、収穫など各ご利用者の出来る事を分担し、利用者の楽しみの一つとして取り組むことが出来ました。 「出掛けたい」などの要望については、当日のスタッフで計画をたて実現出来ました。個々の「～したい」の聞き取りや、実現に向けての取り組みが不十分でした。	野菜や花を育てること、初詣やお花見などのちょっとしたお出掛けも楽しそうに続けて頂きたいです。 公民館では「わくわくボード」という掲示板を設置して子供達の「～したい」「～して欲しい」などの声を自由に書き込んでもらっています。	園芸活動が利用者の日課となりやりに繋がるように継続していきます。 「～したい」の聞き取りについては、昨年度うまく活用出来なかった「～したい聞き取りボード」を見直し、毎月の振り返りを行いながら実践につなげていきます。
B. 事業所のしつらえ・環境	SNS発信については、定期的な発信日を決め、日々の活動の様子をお知らせしていきます。又、運営推進会議でも紹介していきます。 職員の質の向上に向けての取り組みも地域の皆さんに知って頂けるよう会議で報告します。	部署内でミニ運動会を開催しご家族にも参加して頂くことが出来ました。ご家族向けの毎月発行の広報新聞や運営推進会議で日頃の活動内容をお伝えしましたが、SNS発信は、担当職員を決めていなかった為、消極的なものになってしまいました。	広報新聞は、きらめきでの取り組みや様子が分かりやすく伝えられていると思います。注意事項なども記載があり分かりやすかったです。 SNSについては、多忙の中、職員の負担が増えなければいいと思います。	ご家族参加型のイベントを恒例行事として開催し、ご家族との交流の場を設け、いつでも相談できる関係作りに努めます。 SNS担当職員を配置し、出来ることから取り組んでいきます。

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>地域行事について情報収集を行い、こちらから地域に出向いたり、地域の方にもボランティア活動（紙芝居、コンサート）をお願いするなど、ご利用者と地域の関わりも大切にしていきます。</p>	<p>コロナ禍以来再開された地域の行事も多く、少人数ずつではありましたが、ご利用者と一緒に出掛ける事が出来ました。ボランティアさんによる紙芝居やコンサートも再開となり、ご利用者に楽しんで頂けました。 又、職員が持ち回りで地域のサロンに出向き、介護予防体操などを行い地域の方との交流を深める事が出来ました。5年ぶりに開催された「きらり祭」では、地域の方のステージ発表や催し物もあり、多くの方が来場してくださいました。</p>	<p>きらめきの行事に多くの地域の方が参加されて良かったと思います。色々地域との関わりを大切にしたい取り組みをされており、大変素晴らしいと思います。</p>	<p>引き続きサロンやサークルに出向き、地域の方の健康維持に繋がるように努めます。 事業所と地域の方が、お互いに気軽に行き来しやすい関係性を築き、地域の困りごとを気兼ねなく相談して頂けるような施設を目指します。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>ご利用者、ご家族から地域との関わりや暮らし方について情報収集を行い、地域の一員として社会参加し、在宅生活が継続できるように支援していきます。</p>	<p>地域の方のご協力でサロンに出掛ける事が出来たり、ご近所から日頃の様子についての情報を得て安否確認を行うなど地域に支えられているからこそ在宅生活を継続出来ている方がいらっしゃる事を実感しました。</p>	<p>地域の行事も色々再開されています。是非足を運んで下さい。</p>	<p>認知症の方が安心して在宅生活を継続出来るよう、要望に応じて認知症サポーター養成講座を開催するなど、地域の方に認知症についての理解を深めて頂けるよう働きかけを行っていきます。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>会議開催時に施設案内の機会を設けません。実際のご利用者の活動の様子を見学して頂き、頂いた意見を今後の取り組みに活かしていきます。</p>	<p>会議では日頃の活動内容について口頭での報告を行いました。施設内見学の機会を設ける事が出来ませんでした。</p>	<p>来年度は是非、施設見学の機会を設けてください。活動内容が更によく分かり、良いと思います。</p>	<p>運営推進会議の年間計画をたて、施設見学の機会を設けます。その際に頂いた感想やご意見を運営に活かしサービスの向上に努めていきます。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>定期的に災害時の備蓄の確認を行い、日中、夜間両方を想定しての訓練を行います。</p>	<p>年に2回、想定を変えて防災訓練を行い、地域の方にも参加して頂きました。他に災害時の連絡網や避難経路を再確認する為の、図上確認を行いました。</p>	<p>引き続き訓練を継続して下さい。訓練時にも出来ることは協力させていただきます。</p>	<p>いざという時、地域の方にもご協力を頂けるよう、応援要請の訓練などもしていきます。 防災・災害に加え、防犯訓練にも取り組みます。</p>